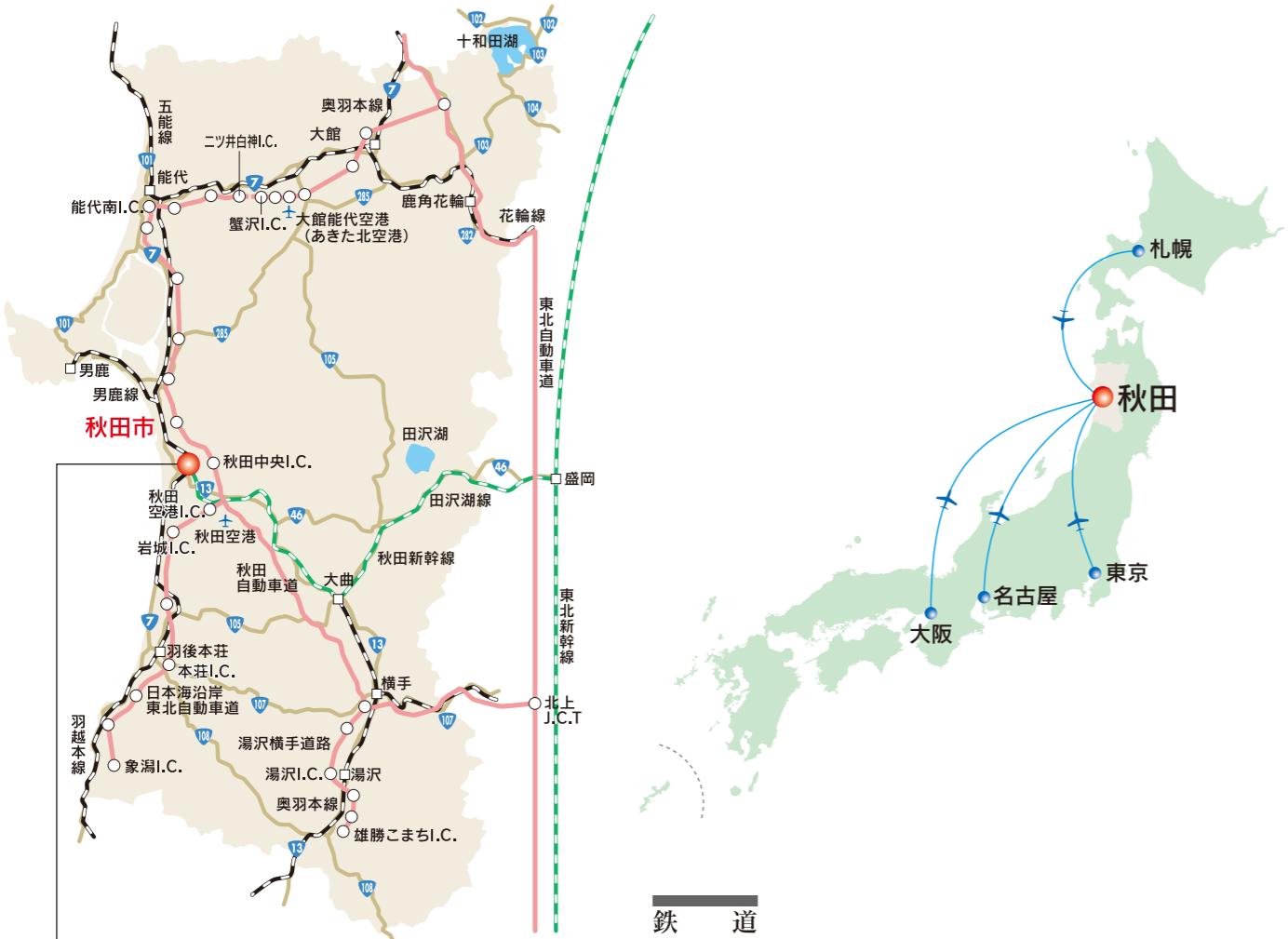


アクセスマップ



【JR秋田駅からのバス利用】
中央交通バス(各線とも大学病院前下車)
東口(2番)西口(11番・12番)



●シンボルマークの説明
AKITA UNIVERSITYのAとUを外形で表し、MEDICINEのMを医学の象徴ギリシャ神話のアスクレ庇オスの杖に聖なる蛇のからみつく姿に表現するとともに心臓を意味する。

秋田大学大学院医学系研究科・ 医学部学務課医学科担当

Tel: 018-884-6030
Fax: 018-836-9845
URL: <http://www.med.akita-u.ac.jp>

秋田大学医学部 医学科へようこそ 2025



素晴らしい先輩と充実した教育システム、
温かい人々、雄大な自然に囲まれて秋田大学で医学を学ぶ



秋田大学 医学部長
羽渕 友則

秋田大学医学部は1970年に創設され、半世紀以上にわたって秋田県唯一の医育機関として、多くの優れた医師・医学研究者を育成してきました。地域医療の最後の砦として地域住民の命を守りながらも、世界トップレベルの医学研究、先端的医療を実践しています。

秋田県を始めとして、日本全体が急速な少子高齢化、地方における過疎や医師不足が深刻化する中で、秋田大学医学部の果たす役割はますます大きくなっています。秋田大学医学部では、50名以上の優れた教授陣、約200名の熱意溢れる教員、1000人以上の医師、看護師や薬剤師などの専門メディカルスタッフを揃えています。さらに秋田県内の多くの主要医療機関が医学生の臨床実習を支えてくれています。これら全ての専門家が一丸となって、「オール秋田」で医学生的な教育に取り組んでいきます。

私共、秋田大学医学部は、地域医療への理解と共感を有し、将来の医師として、強い倫理観を持ち、住民の健康・福祉に寄与できる人を求めています。また医学・医療に関する研究を極め、国際舞台での活躍を目指す人たちの入学も大歓迎です。温かい秋田の人々、緑豊かで雄大な自然に囲まれて、秋田大学医学部で心地よく学び、充実した学生生活を満喫してください。そして医療・医学の発展や社会に貢献できる信頼される「医」のプロフェッショナルを目指しましょう。

入学者選抜方法

一般選抜

大学入学共通テスト、個別学力検査等の成績および調査書の内容を総合して合否を判定します。

前期日程

個別学力検査では、外国語および数学の筆記試験のほか面接を行います。

後期日程

個別学力検査では、小論文と面接を行います。

一般枠

従来より実施している後期日程入試です。

秋田県地域枠

秋田県内の高校等出身の方対象です。
在学中、秋田県からの修学資金の貸与を受け、卒業後一定期間秋田県内の医療機関に従事することになります。

学校推薦型選抜

秋田大学医学部医学科では、学校推薦型選抜をおこなっています。以下のように複数の推薦枠があり、優秀な学生を募集しています。

学校推薦型選抜Ⅱ

大学入学共通テスト、調査書、推薦書、志願理由書、小論文、面接の結果を総合して合否を判定します。

一般枠

従来より実施している高校3年生を対象とした学校推薦による試験です。

秋田県地域枠

平成20年度から始めた入試選抜枠です。受験資格は既卒者(一浪)まで秋田県内の高校等出身の方対象です。
在学中、秋田県からの修学資金の貸与を受け、卒業後一定期間秋田県内の医療機関に従事することになります。

東北地域枠

令和7年度から新設される入試選抜枠です。
受験資格は既卒者(一浪)まで、秋田県以外の東北の高校等出身の方対象です。卒業後、秋田大学の専門研修プログラムで専門医を取得し、一定期間秋田県内の医療機関に従事することになります。

令和7年度 秋田大学医学部医学科入試関連スケジュール

	一般選抜(前期)	一般選抜(後期):一般枠	一般選抜(後期):秋田県地域枠	学校推薦型選抜Ⅱ(一般枠)	学校推薦型選抜Ⅱ(地域枠)
令和6年 12月					出願(12/11~12/17)
令和6年 1月				試験(1/23)	試験(1/23・24)
2月			出願(1/27~2/5)		合格発表(2/12)
	試験(2/25・26)				
3月	合格発表(3/7)			試験(3/12)	合格発表(3/21)

※各入試区分の募集人数および入学者選抜方法については、7月中旬に公表予定の「入学者選抜要項」で必ず確認してください。

全人的医学教育により
高度な知識と豊かな人間性を身につけた優れた医師を育てます。

※平成27年度より、新しい医学教育カリキュラムがスタートしました。これは、医学教育のグローバル化に対応したもので、診療に参加しながら医学・医療を学ぶ機会が従来よりもはるかに多くなっています。

6

医師国家試験



卒業 学位:学士(医学)



卒業試験,PCC-OSCE



臨床実習(Part.2)

5



臨床実習(Part.1)

4



統一試験・共用試験(OSCE・CBT)



臨床医学講義(Part.2)

3



3年次統一試験

2



2年次統一試験

1



1年次統一試験

入学

6年間の医学教育を修了し、医師国家試験に合格すると、2年間の「初期臨床研修」を受け、その後に本人の希望する専門科における研修を継続することになります。

※PCC:Post Clinical Clerkship
クリニカルクラークシップ(臨床実習)修了後

引き続き、臨床実習を学びます。秋以降の臨床実習では、各診療科・診療部門を4~5週間単位でローテーションでまわります。この間は完全な診療参加型の臨床実習であり、学生は診療チームの一員として参加することになります。実習は大学病院だけでなく、県内病院も含まれています。

また、この間を利用して、希望により海外の大学医学部・附属病院へ短期留学に行くコースも用意されています。

4年次秋からは、臨床実習生(医学)として、各診療科・診療部門を1~2週間単位でローテーションでまわり、外来・病棟・手術室などで実際の患者さんに接して学習します。

4年次では、臓器別の臨床講義に加えて、臨床実習に備えた基本的な診療知識・技能などを学びます。夏休み前には統一試験に加えて、全国の医学生が受験する共用試験(OSCE・CBT)が行われ、合格者のみが秋以降に始まる臨床実習に進むことができます。

※OSCE:Objective Structured Clinical Examination
臨床実習前の学生の態度、技能、知識を評価するための実技試験
CBT: Computer Based Test
コンピュータにより問題が出題される、全大学共通の共用試験

3年次からは、臨床医学及び社会医学の講義・実習が行われます。研究配属では少人数のグループに分かれて選択した講座に配属され、主に基礎研究に参加します。チュートリアル教育という少人数制の自主学習方法を取り入れられています。

2年次からはモデル・コア・カリキュラムに準拠した統合型カリキュラムによる教育が本格的に始まります。2年次では基礎医学を中心とした講義・実習が行われ、人体の構造と機能、個体の反応、原因と病態について学習します。

1年次では、教養基礎教育科目に加え、初年次ゼミ、専門教育科目として基礎医学を学びます。初年次ゼミにおいては、臨床推論講義、医療面接学習、模擬患者さんとの医療コミュニケーショントレーニング(日本語および英語)、チーム医療体験実習が行われ、医学への導入とともに医療者としての態度・技能の習得に力を入れています。

従来、専門教育科目は2年次以降に始める科目が多かったのですが、新カリキュラムでは、初年次より多くの専門科目を学ぶことになります。